

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	TETAU事業協同組合			代表者名	山本賢
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	なし	連絡先電話番号	050-5536-9139
担当者役職	理事	担当者氏名	森脇碌	連絡先E-mail	
住所	649-2102 和歌山県上富田町1645-4				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	和歌山県	連絡先部署	商工労働部労働政策課		
担当者氏名	上西紘平	連絡先電話番号	073-441-2790	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	働き方改革・テレワーカー養成研修&集いの場運営業務
概要	県内で子育て・介護中、療養中、障害を持つ方など働きにくさを感じている人たちに対して、時間や場所にとらわれない自営型テレワーカーという働き方を普及させ、ICTを活用して誰もが自分らしく働き、活躍できる地域を作りたい。そこで、民間と自治体が連携して地域のみなさんを育成しながら、柔軟に働ける機会を創出していくための取組方法について助言をいただきたい。		
支援を求める分野	働き方 テレワーク		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月28日	事前打合せ&支援・助言(実地)	9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420
2-2. 派遣場所	会場名	和歌山県庁		最寄駅	JR和歌山駅
	所在地	和歌山市小松原通一丁目1番地		最寄駅からの交通手段	バス・もしくはタクシー

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	上前 知洋				
評価	大変良い				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	メールのやり取りなどで事前に和歌山県やTETAUの課題をしっかりと把握いただきました。そのおかげで来てくださった時間を最大限有効に活用できました。資料もしっかりとご用意いただいて立科町のこれまでのプロセスや、現在の運営の仕方深く理解することができました。また和歌山県やTETAUの活動についてをお聞きいただき、丁寧に整理していただきました。				
アドバイザーへの要望事項	今回3回の派遣ですが、それ以外の機会にもぜひ関わっていただきたい。				

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	6人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	2	0	4
				その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自営型テレワーカー育成に向けて県の事業として8年間行い、400人以上に参加していただいた。毎回、定員を超える申し込みがあり、ニーズは多いが、自営型テレワーカーとして仕事ができているのは10%にとどまっている。自分で受注し、自律して進めていく、ということは多くの方にとって難しく、働きにくい人を働くことに繋げていくために何ができるのかを、官民が連携して考えていく必要を感じている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	立科町の「社会福祉型テレワーク」という中間支援法人が就労支援するという形を知り、それが和歌山県で実行することができるのか、またどのような形が適しているのか、などを県・基礎自治体・民間企業・ワーカーなどが参加し協議して、和歌山の形をガイドラインという形でアウトプットし、次年度以降のプランを作成すること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	立科振興公社や立科町、アドバイザー本人がどのようなプロセスで今に至るのか、現在どのように活動をしているのかを、「自治体の目線から」と「法人として運用する目線から」の両方の視点から事例を紹介していただいた。それを聞いた県職員、TETAU事業協同組合の役員からの質問に丁寧に答えていただいた。その後、和歌山県の事例、TETAUの状況をお聞きいただいて、それに対してアドバイスをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	和歌山県と立科町の取り組みの違いが明確になった。和歌山県・TETAU事業協同組合が感じていた「不足している部分」が明確になった。基礎自治体を中心になって、自営型テレワーカーの支援を行う方法や、まずは知っていただくための勉強会を開催することが良いのではないかという結論に至った。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	仮のロードマップを作成。次回の協議で基礎自治体（白浜町）や関係企業（白浜イノベーションハブ）に案として見せるものが作れた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	基礎自治体がどのように感じるのか、立科町のようにやってみたいという基礎自治体が存在するのか。TETAU事業協同組合がどのようにそこに関わっていくのか、もしくはどのような事業を自主的にやっていくのかなど具体的な取り組みをどうしていくか。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	今回の協議によって見えてきた「ワーカー側のニーズ」についてこれからアンケートを行う予定。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
	次年度の和歌山県委託事業「テレワーカー養成研修&集いの場」の仕様を見直していくことと、基礎自治体などと新しい取り組みとして行う事業の2つの事業において、具体的なプランを策定する	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	和歌山県、基礎自治体、民間企業の3社で、和歌山県の「自営型テレワーカー（働きにくさを感じている人の働く）」についてどのようなことができるのかをロードマップにまとめ、それに対するワーカーの意見をまとめて、次年度以降の計画を作成する	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

